



詩のよう
な日常宇宙。



小林徳三郎

Kobayashi Tokusaburo:
A Retrospective



2026
9.12(土)⇒11.8(日)

[前期] 9月12日(土)－10月12日(月・祝) [後期] 10月14日(水)－11月8日(日)

*期間中、一部の作品の展示替えを行います。

開館時間／10:00－17:00(入館は16:30まで)

休館日／月曜日〔ただし、9月21日(月・祝)、10月12日(月・祝)は開館。〕

9月24日(木)、10月13日(火)は休館。〕

観覧料／一般1,000円(800円)、高・大学生600円(480円)、中学生以下無料

*()内は、20名以上の団体割引料金

市内在住・在学の高校生、市内在住の65歳以上の方、各種障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1名は無料。受付に証明証をご提示ください。

主催：碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会

共催：中日新聞社 特別協力：広島県立美術館



碧南市藤井達吉現代美術館

HEKINAN CITY TATSUKICHI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART

作品／上：《デコボウノヒコウ》(部分) 1915-18年頃 個人蔵 中：《金魚を見る子供》1928年 東京国立近代美術館蔵 下：《モクバクワン 色刷》(部分) 1915-18年頃 個人蔵



《魚》1925年頃 碧南市藤井達吉現代美術館蔵

小林徳三郎(1884-1949)は大正から昭和にかけて活躍した洋画家です。現在の広島県福山市に生まれた小林は、東京美術学校で油彩画の技法を学びます。画業の初期には先駆的な絵画表現で注目を浴びたフェウザン会に参加し、萬鐵五郎や木村荘八ら同世代の画家と親交を結びました。その後は書籍や雑誌の装幀を手掛けたり、芸術座の舞台美術を担当したりするなど、多彩な仕事に携わり、活躍の場を広げていきます。

小林は1923年から春陽会に活動の場を移します。魚や野菜といった身近なモチーフ、そして家族の飾らない姿を描いた作品を発表し、評判を呼ぶとともに多くの文化人からも愛されました。病や戦災に苦しんだ時期も、療養地の身近な風景を繰り返し描き、晩年まで精力的に創作を続けます。

著述家の林芙美子は、小林の絵を「空気のはいった、生活のはいった何気ない作品」と評しました。その言葉の通り、日々の素朴な喜びを描いた小林の絵は、生活に溶け込むようなあたたかさを感じさせます。本展は小林徳三郎初の大回顧展です。300点以上の作品と資料により、その画業をご紹介します。

小林徳三郎

A Retrospective
Kobayashi Tokusaburo

関連イベント等

◆記念講演会

演題:「小林徳三郎—日常を描いた画家の人生—」

講師: 田中晴子氏(東京ステーションギャラリー副館長)

日時: 10月24日(土) 14:00-15:30

場所: 地下1階・多目的室B

定員: 50名(先着順) 聴講無料

◆対話型アート鑑賞+創作活動プログラム

「アートウェル™」



「アートウェル」は福祉分野を対象とした、対話型アート鑑賞と創作活動を組み合わせたプログラムです。作品を鑑賞しながら自由に対話を行い、その後簡単な創作活動へと展開します。

日時: 9月29日(火) ①10:00-12:00 ②13:30-15:30

対象: 認知症の方とその家族、介護施設職員など

講師: 時高直子氏 (ARTIMEET 主宰・アートウェルプランナー)

場所: 2階ロビー(集合)

定員: 各5組10名程度(先着順) 参加費: ひとり500円

◆ワークショップ「小林徳三郎風「秋」を表現しよう」

小林徳三郎が好んで描いた魚。おいしく焼けた秋刀魚を油絵風にクレヨンとアクリル絵の具で描いてみましょう。

日時: 10月25日(日) ①10:30-12:00 ②13:30-15:00

対象: 小学生~大人

場所: 地下1階・創作室

定員: 各10名(先着順) 参加費: 300円

講演会、鑑賞+創作プログラム、ワークショップともに8月5日(水)10:00より受付を始め、定員になり次第締め切ります。電話にて①氏名②電話番号③参加人数をお知らせください。

*お申し込みに当たってお知らせいただいた個人情報は受講管理の目的のみに使用します。

◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示説明会)

9月12日(土)、9月26日(土)、10月4日(日)、10月10日(土)、

11月7日(土) 14:00から約30分

予約不要。観覧券をお持ちの上、2階ロビーにお集まりください。

◆SNSにて展覧会・イベントの最新情報を発信中!

10月18日(日)は美術館周辺で「大浜てらまちウォーキング」の開催が予定されています。これに伴い、8:30-16:00は美術館周辺が歩行者天国区間になるため、駐車できません。予めご了承ください。

■次回の企画展

「笠井誠一展」11月21日(土)~2027年1月11日(月・祝)



《『モナ・ヴナ』舞台背景図》1913年頃 個人蔵



《『軽業1』1912年
京都国立近代美術館蔵



《『モクバクワン』画稿4》1915-18年頃 個人蔵



《『子供たち』1932年 個人蔵



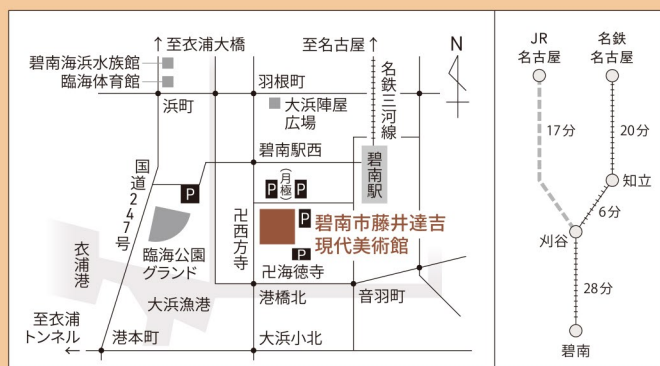
《婦人像(F夫人)》1946年
ふくやま美術館蔵



《アラ・ボオ作/谷崎精二
訳『赤き死の仮面』裏表紙
模1》1913年頃 個人蔵



《『西瓜』1932年 広島県立美術館蔵



交通のご案内 ●名鉄線をご利用の場合: 名鉄名古屋本線「知立駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分。●JR東海道本線と名鉄線をご利用の場合: JR「刈谷駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分。●知多半島道路・阿久比インターから車で約20分(衣浦大橋を渡って右折) ●駐車場数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

〒447-0847 愛知県碧南市音羽町1丁目1番地
TEL.0566-48-6602 FAX.0566-48-6603
E-mail museum@city.hekinan.lg.jp
HP <http://www.city.hekinan.lg.jp/museum/>



Homepage



Instagram



碧南市藤井達吉現代美術館

HEKINAN CITY TATSUKICHI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART